

問 健康増進課（保健センター） ☎720-5000

「伊奈町保健事業のお知らせ」と併せてご覧ください。

内：内容 対：対象 定：定員 持：持ち物 費：費用 申：申込み

♥ 予防接種

※予防接種でご不明の点は、健康増進課までお問い合わせください。

費 無料

- 各種予防接種については、「伊奈町保健事業のお知らせ」または町ホームページでご確認ください。
- 転入等で予診票をお持ちでない方は、必ず母子健康手帳を持参のうえ、健康増進課(保健センター)までお越しください。
- 予防接種の際は、保護者の同伴が必要となります。特別な理由で同伴できない場合は委任状が必要となりますので、健康増進課(保健センター)までお越しください。

♥ 母子保健

お母さんと赤ちゃんの健康のために

場 保健センター

名 称	実施日	内容・対象・持ち物	受付時間	備考
乳 児 健 康 診 査	11/2(金)	対平成30年7月生 持母子手帳・質問票(はがき)・バスタオル	13:10 ~13:50	申当日直接会場へ 整理番号札は12:30から保健センター側入口にお出しします。なお、対象児には個別通知します。
	12/14(金)	対平成30年8月生		
1歳6か月児健康診査	11/16(金)	対平成29年4月生 持母子手帳・質問票(はがき)		
	12/21(金)	対平成29年5月生		
3歳児健康診査	11/6(火)	対平成27年6月生 持母子手帳・アンケート用紙・尿		
	12/4(火)	対平成27年7月生		
乳 児 相 談	11/2(金) 12/14(金)	内身体計測・育児全般の相談 対1歳未満 持母子手帳・おむつ・バスタオル	9:30 ~10:30	申当日直接会場へ
育 児 相 談	11/16(金) 12/21(金)	内身体計測・健康・育児・栄養等の相談 対1歳以上就学前 持母子手帳・おむつ		
幼 児 相 談	11/30(金) 12/25(火)	対発育・発達等の面で気になる方 持母子手帳	予約制	相談時間についてはお問い合わせください。
離乳食講習会	12/18(火)	内栄養士が離乳食の進め方や作り方について実習を交えて指導します。 持母子手帳・筆記用具	9:50 ~10:00	場料理室 申当日直接会場へ
フッ素塗布	12/19(水)	対1歳6か月児健診で歯科受診済で就学前の幼児(希望者) 持母子手帳・タオル ※歯の健康手帳をお持ちの方は持参してください。	13:30 ~14:30	費1,404円 申当日直接会場へ ※6か月間隔で塗布します。
母 親 学 級	11/7(水) 11/14(水) 11/21(水)	内出産までの健康管理と準備、乳児の保育の指導を3回に分けて行います。 対初産の方 持母子手帳	13:05 ~13:15	申予約制(電話受付可)
妊婦歯科健診	11/21(水)	内歯科医師による歯科健診 対妊娠中の方 持母子手帳	13:20 ~13:45	申電話受付可、母親学級3日目に続けて参加可

小児の急病・けがに

●小児初期救急当番医(月~土曜日20時~22時) ※祝日および年末年始は除く

平日の夜間にお子さんの急病・けがなどが発生した場合、桶川・北本・伊奈地区の当番医が診療します。

☎ 伊奈町消防本部・署 ☎722-8111

●小児救急電話相談

☎ #8000 (NTTのプッシュ回線、携帯電話をご利用の場合)

☎ 833-7911 (IP電話・ひかり電話・ダイヤル回線をご利用の場合)



乳がん・子宮がん・歯周疾患 検診実施中！

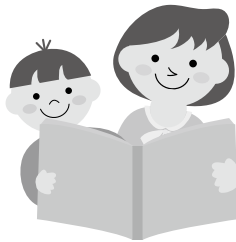
実施期間 12月28日(金)まで

- ☑ 乳がん…昭和54年3月31日以前生まれの女性の町民
子宮がん…平成11年3月31日以前生まれの女性の町民
歯周疾患…昭和54年3月31日以前生まれの町民
 - ☑ 受診希望の方は、早めに健康増進課にお申込みのうえ、医療機関へ予約し受診してください。
- ※乳がん・子宮がん検診は、い～な！健康マイレージ対象事業です。
※乳がん検診・子宮がん検診無料クーポン券の配布を受けた方の有効期限も12月28日(金)までです。

ふれあい広場

遊びを通して楽しいひとときを過ごしてみませんか？

- ☑ 遊びの広場（手作りおもちゃ・ぬり絵・ヨーヨーつり）、お話の広場、歌の広場など
- ※事前申込不要
- ☑ 12月5日(水)10時～11時30分
 - ☑ 保健センター、総合センター
 - ☑ 高齢者、幼児と母親
- 主催 母子愛育会
☑ 健康増進課 ☎ 720-5000



あかちゃん ハイハイ大会



町総合文化祭でハイハイができるお子さんを対象にハイハイの競争を実施します。がんばるお子さんのかわいい姿を応援しましょう!!

※事前申込不要

☑ 11月11日(日)

受付時間 9時45分～10時15分

☑ 保健センター健診室



健康 一回メモ

とっぱつせいなんちょう 突発性難聴

突然発症する難聴で、ほとんどの方は片耳におこります。難聴は高度難聴で、50歳～60歳代の方におこりやすいです。発病に男女の差はありません。この病気は、日本で年間約30000人の方におこっています。原因不明の難聴で、内耳の血液循環障害やウイルス感染が考えられています。

多くの方の発症は、「片方の耳が急にふさがった感じになった」、「急に耳鳴りが出現した」、などの症状が現れますが、めまいを伴う場合もあります。片耳が高度難聴（耳元で大声でないと聞こえないほど）となっても、一方は正常のことが多く、自分が高度難聴となっていることに気づかずに、日数が経

過してしまうケースがあります。

日常ストレスを抱える人、睡眠不足、疲労の蓄積、糖尿病の人などが発病しやすい人です。

治療法は、ステロイド剤を中心とした治療で、その他いろいろとありますが、安静が第一です。治療効果は、治療を行った人の1/3は治癒、1/3は難聴・部分回復、1/3は難聴・不変（改善せず）と言われています。発症から治療開始までの日数が少なければ少ないほど聴力改善が期待できます。ただし、めまいを伴う場合や高齢者では、早期に治療を開始しても回復しにくいです。

突発性難聴は、再発することはきわめて稀です。いずれにしても、急におこった難聴・耳鳴りは、耳鼻科を早急に受診し、突発性難聴と診断された場合、早期治療開始が重要です。

〈提供：（一社）桶川北本伊奈地区医師会〉